

日本建築学会北海道支部 2006 年度第 2 回常議員会議事録

記：星

日時：平成 18 年 10 月 17 日 18:30～21:00

場所：日本建築学会北海道支部事務所（大通ダイヤビル）

出席：支部長：絵内

常議員：澤田、田中、玉木、伊藤、齊藤、鈴木、深澤、星、溝口

総務委員会委員長：羽山

事務局：菊地

配布資料

- | | |
|--|---------------|
| (1) 前回（2006 年度第 1 回常議員会）議事録(案) | 資料 2-1 |
| (2) 理事会・支部長会議報告（支部長より） | 資料 2-2 及び回覧資料 |
| (3) 支部経理報告 | 資料 2-3 |
| (4) 構造専門委員会、環境工学専門委員会主催
見学会、講演会の申請について（3 件） | 回覧資料 |
| (5) 「作品選集 2007」掲載作品について | 資料 2-4 |
| (6) 北海道建築設計会議活動報告について | 資料 2-5 |
| (7) 後援依頼について | 回覧資料 |
| 1) 「室蘭サステナブルシティ国際デザインワークショップ」室蘭市他より | |
| 2) 「温暖化と建築物との関係性」札幌商工会議所より | |
| 3) 「第 17 回旭川建築作品発表会」旭川まちなみ推進委員会より | |
| 4) 「鉄筋コンクリート組積造講習会」(社)建築研究振興協会より | |
| 5) 「住宅のエネルギーと快適性」札幌商工会議所より | |
| (8) 日本建築学会大賞候補者の推薦及び日本建築学会教育賞候補者の推薦について | |
| (9) 2007 年度建築文化週間及び特定課題研究委員会募集について | 資料 2-6 |
| (10) 次期役員選挙（代議員及び常議員）について | 資料 2-7 |
| (11) ホームページ管理委員会の位置づけ及び管理規定の改変の討議、委員の承認について | 資料 2-8 |
| (12) 支部事務局移転問題の進捗状況の報告について | |

司会：齋藤

議事内容

支部長挨拶：

【報告・承認事項】

- 1 前回（2006年度第1回常議員会）議事録の確認 (齋藤/資料2-1)
 - ・修正無し

- 2 理事会・支部長会議報告（支部長より） (絵内/資料2-2及び回覧資料)
 - 10月理事会（10月11日）報告
 - ・大会における作品発表の場（案）が確定した
 - ・定款改正の方向について（案）
 - 主に社会貢献についての記述について検討し、3年後を目処に公益法人化する予定との報告あり
 - ・選挙制度検討WG中間報告（案）
 - 今年度は従来どおりとするが、一票の格差の是正を中心とした改定していく方向で検討中
 - ・「健全な設計・生産システム構築のための提言と学会としての取り組み」について報告

- 3 支部経理報告 (羽山/資料2-3)
 - ・資料2-3の報告
 - 収入は順調に進捗、支出は予算の約半分を消化済み

- 4 構造専門委員会、環境工学専門委員会主催 (事務局/回覧資料)
 - 次の見学会、講演会の申請について（3件） いずれも承認
 - 構造専門委員会
 - 後援会（10月5日） 「新しい構造法の基本的考え方」
 - 見学会（10/23） 「学生のための鉄工所見学会」
 - 環境工学専門委員会
 - 見学会（10/28） 「環境技術の農業への応用について - 実用化の可能性と課題 - 」

- 5 「作品選集2007」掲載作品について (伊藤/資料2-4)
 - ・経過報告
 - ・応募作品から次の4作品を推薦
 - 「中央警察署札幌駅前交番」「トラス下の矩形」「CELLS HOUSE」「SAPPORO55」

- 6 北海道建築設計会議活動報告について (澤田/資料2-5)
 - 第38回幹事会議事録の説明
 - ・北海道赤レンガ建築賞については体制が固まり、協賛金含め予算確保の目処も立った
 - ・今回の枠組みで3年程度は続け、その後は北海道主催に戻したいとの説明があった

- 7 後援依頼について (事務局 / 回覧資料)
- 次について、いずれも承認
- 1) 「室蘭サステナブルシティ国際デザインワークショップ」室蘭市他より
 - 2) 「温暖化と建築物との関係性」札幌商工会議所より
 - 3) 「第17回旭川建築作品発表会」旭川まちなみ推進委員会より
 - 4) 「鉄筋コンクリート組積造講習会」(社)建築研究振興協会より
 - 5) 「住宅のエネルギーと快適性」札幌商工会議所より
- 8 日本建築学会大賞候補者の推薦及び日本建築学会教育賞候補者の推薦について (絵内)
- ・ 新たに教育賞を創設。本部事務局から内々に柴田先生はどうかとの打診があったので支部として推薦したい
 - ・ 大賞候補者についても柴田先生を推薦したい
 - ・ 大賞と教育賞の重複推薦は可能とのこと
 - ・ 大賞は支部のみではなく本部委員会からの推薦が必要。これについての働きかけをしたい
 - ・ 大賞については簡単ではないが引き続き推薦していきたい
- 9 2007年度建築文化週間及び特定課題研究委員会募集について (絵内 / 資料2-6)
- ・ 支部の募集要項(建築雑誌会告用原稿)について承認
- 10 次期役員選挙(代議員及び常議員)について (絵内 / 資料2-7)
- ・ 候補者は改選数+1名で出す必要がある
 - ・ 常議員は支部長のサポート役でもあるので、次期支部長のイメージが見えた段階で決めることが必要
 - ・ それにしても10月末から11月中頃までに決める必要がある
 - ・ 澤田、田中、玉木の各氏にそれぞれの領域で後任候補を挙げてもらいたい旨要請
 - ・ 常議員は会員でなければならないので非会員の候補者であれば先に入会手続きが必要
- 11 ホームページ管理委員会の位置づけ及び管理規定の改変の討議、委員の承認について (絵内・田中 / 資料2-8)
- 主に次の3点から管理委員会規定案を作成したことを説明
- ・ HP管理委員会は常議員会の直属とし、常議員会との連絡調整体制を整える
 - ・ これまで担当常議員が実務を担うかたちになり、役割が曖昧であったが、常議員はサポート役とする
 - ・ HPには担当者個人の裁量にまかせるのではなく、管理監視体制を確立するとともに責任の所在を明らかにする議論
 - ・ HPに関する内規については、新しい管理委員会で検討し常議員会で結論を出す
 - ・ 鈴木(道工大)、田中(北海道)、菊田(北大)、谷口(道工大)、十河(北総研)の各氏に依頼したい(絵内)
- 結論
- ・ 規定については承認
- 12 支部事務局移転問題の進捗状況の報告について (絵内)
- 経緯
- ・ A I JとJ I Aで現事務局について議論したが暖房等の修理に90万ほどかかるが、これを家主に依頼すると家賃が上がる(現在90万ほど)

- ・ J I Aの会計がかなり厳しい状況の中で移転を検討
- ・ この問題への対処を検討するため城前支部長を座長にWGを設置
- ・ 来年3月で契約更新 12月中に結論
- ・ 本部から7割負担を受けており、12月の理事会で了解を得る必要がある
- ・ このような状況の中で常議員会に諮ることなくWGで検討
- ・ 昨日のWG見通しが立った

WGでの合意事項：

- ・ 2007年3月に移転を前提に検討開始
- ・ 移転するとなれば、A I JとJ I Aが各々個別に移転することを前提に検討
- ・ 2006年11月に内容を決定する
- ・ 移転に関する情報は両者提供し合いながら進める
- ・ 共有資産の取扱いについては両者で協議
- ・ 建設会館を候補としたい(家賃は3000円程度上がる)
- ・ 面積は若干縮小するが事務局+10人程度の会議スペースの確保は可能
- ・ 札幌駅に近い、同会館に大会議室がありシンポ等の開催に便利などの利点がある

取扱いについて

- ・ 支部長及び常任幹事、総務委員長に一任

次回常議員会 12月6日